

科目コード	S25103	科目名	聴覚障害				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	河村 千夏・長谷川 純						
授業の概要	ライフステージに応じた、聴覚・言語・発声発語の(リ)ハビリテーションの考え方と方法について学ぶ。聴覚障害児者への支援方法や制度についての知識を習得する。						
DPとの関連	人間を広い領域から捉え、人を愛する心と専門技術を統合できる能力を身につける						
	言語聴覚障害学について深い専門的知識を修得し、それを臨床において適切に応用することができる能力を身につける						
	職務遂行に必要な社会性、倫理観、専門職業人としての自覚を身に付け、多様な患者、家族、医療・福祉関係者等と円滑なコミュニケーションを取ることができる能力を身につける						
	複雑で多様な障害について常に科学的に探究する姿勢をもち、積極的に自己研鑽し続ける能力を身につける DP：ディプロマ・ポリシー（修了認定の方針）= 修了までに身に付けるべき資質・能力						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害児の乳幼児期、学童期の特徴と課題を理解し、支援の基本的な考え方について理解する。</li> <li>・成人聴覚障害者の多様性とその特徴、対処の違いを知り、方法を学ぶ。</li> </ul>						
履修上の注意事項	基本的な受講のルールを遵守してください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	聴覚障害乳幼児のハビリテーションの概要【河村】				事前：教科書第7章p246-252を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）	
	2	聴覚補償と補聴効果の評価【河村】				事前：教科書第7章p252-261読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）	
	3	言語習得の課題と支援【河村】				事前：教科書第7章p261-279を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）	
	4	聴覚学習とコミュニケーション支援【河村】				事前：教科書第7章p280-308を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）	
	5	学童期の課題と支援【河村】				事前：教科書第7章p308-324を読む。（120分） 事後：教科書、配布資料を基にまとめる。（120分）	
	6	聴覚障害者の歴史とコミュニケーション【長谷川】				事前：教科書の第1章を読む（120分） 事後：授業内容のまとめ作成と関連知識の検索（120分）	
	7	中途失聴者の評価と支援（カウンセリングと補聴・社会参加への支援）【長谷川】				事前：教科書の第6章を読む（120分） 事後：授業内容のまとめ作成と関連知識の検索（120分）	
	8	聴覚障害者のコミュニケーション支援（手話、要約筆記）【長谷川】				事前：教科書の第9章を読む（120分） 事後：授業内容のまとめ作成と関連知識の検索（120分）	
成績評価方法	<p>期末試験100%</p> <p>ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。</p>						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版【城間将江ほか編】（医学書院）					978-4260043502	
参考書	言語聴覚士のための聴覚障害学【喜多村 健 編】（医歯薬出版）					978-4263212653	
教員からのメッセージ	聴覚障害 を復習しておいてください。 小児の発達を理解しておくことが小児期のハビリテーションには重要です。発達について理解を深めておいてください。						
教員との連絡方法	講義終了後、教室で。 授業時以外は専任教員に連絡してください。						
実務経験のある教員	<p>【河村】言語聴覚士として小児療育センター及び特別支援学校にて臨床経験のあり、現在も言語聴覚研究所付属相談室にて小児の言語相談・指導に携わる教員が担当する。</p> <p>【長谷川】病院において臨床経験のある言語聴覚士が、実務経験を活かして講義を行う。</p>						